

「JICA 国際協力中・高校生エッセイコンテスト 2022」表彰式開催 ～下川町立下川中学校 三浦かなさんが文部科学大臣賞を受賞～

独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、2月18日（土）に市ヶ谷・JICA 地球ひろばにて、「国際協力中・高校生エッセイコンテスト 2022」の表彰式を開催しました。本表彰式は、2018年度以降4年ぶりの対面開催となりました。

JICAでは、中学生・高校生が開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして一人ひとりがどのように行動すべきか考えることを目的に、本エッセイコンテストを毎年開催しており、今回で中学生の部は27回目、高校生の部は61回目となります。今年度のテーマは「世界とつながる私たち～未来のための小さな一歩～」です。新型コロナウイルス関連の話題の他、SDGs やロシアのウクライナ軍事侵攻を取り上げた作品等、今年は中学生の部で19,832点、高校生の部で24,048点、総数43,880点の応募が寄せられました。

下川町立下川中学校に通う、三浦かなさんは、「世界の扉を開くかぎ」というテーマでエッセイを作成し、応募されました。三浦さんはカナダで人々の優しさや思いやりに振れたことをきっかけに、バリアフリーを実現する社会の在り方について考えるようになりました。自身が始めた社会貢献活動や、世界との繋がりに気づきを得た様子について綴った作品を作成され、本エッセイコンテストとしては、最優秀賞となる、文部科学大臣賞を受賞されました。

ヘッドネーションや地域のライフジャケットレンタルステーションの設置に尽力する等、社会や人の心のバリアフリーについて自ら考え、行動した中学生の挑戦について、是非、取材をご検討ください。



写真:表彰式の様子

本件についてのお問い合わせ
JICA 北海道（札幌）担当：竹端
電話：011-866-8421 メール：Takehata.Anju@jica.go.jp